４－１　特別活動の全体計画　　墨田区立吾嬬第二中学校

教育目標

人間尊重の精神を基調とし、郷土を愛し、平和を願い、社会に貢献できる豊かな人間性を持つ生徒の育成をめざすため、次の教育目標を設定する。

・自ら学び、正しい判断のできる生徒
・思いやりのある生徒
・心身ともに健康な生徒

関係法令等

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法

学習指導要領

・学級活動は、年間35時間以上にわたって行う
・生徒会活動及び学校行事は内容に応じ、年間、学期ごと月ごとなどに適切な授業時数を充てる

生徒指導の方針

○生徒指導の推進
　・自己肯定感の育成
　・自律の育成
　・自己責任の明確化
○教育相談体制の充実
○生徒会活動・部活動の活性化

育てたい生徒像

・自ら課題を見つけよく考え、学ぶ楽しさを知る生徒
・思いやりの心を大切にする生徒
・常に明るく元気に生活し、部活動などを通じて心身共に健康で、挨拶がきちんとできる生徒
・いじめや差別等を許さない生徒
・学校行事を通じ集団での行動と協力ができる生徒
・読書習慣を身につけた、読書の好きな生徒

特別活動の重点目標

望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい生活を築こうとする参画意識と、自主的、実践的な態度と健全な生活態度を育成する。

・望ましい集団活動の育成
・個人的な資質の育成
・社会的な資質の育成
・自主的、実践的な態度の育成
・人としての生き方の自覚
・自己を生かす能力の涵養

本校の実態

生徒の実態

1）全体的に温厚で素直な生徒が多い
2）部活動への参加も熱心で挨拶がよくできる
3）友人関係に偏りが見られ、相手の心を傷つける言動を取ることもある
4）課題に対する生徒の意欲の個人差が大きい
5）感謝の気持ちや命の大切さ等についての価値観にばらつきがある
6）差別や偏見に主体的に取り組もうとする意識が十分ではない

保護者・地域の実態

1）差別や偏見のない地域を目指す
2）中小企業が多く下町であり、親子三代卒業生も多く、子供は地域で育てるとの意識がある
3）明るさ、優しさ、温かさにあふれた人情味のある人間関係がある
4）学校への期待と協力がある

地域・保護者等の連携

1）授業参観・学校行事への参加
2）父母と教師の会研修会
3）懇談会や広報活動（各種通信）等の啓発

教科等

確かな学力を身につける　・
・授業の質を高める授業計画
・授業研究月間を設け、授業を公開
・問題解決型の授業
・漢字・計算・単語コンクール実施
・放課後補習、長期休業日補習
・吾二塾の実施
・英語・数学の少人数指導
・保健体育の男女共修指導
・形成的評価を中心に据えた授業の工夫・改善
・コンピュータ等を積極的に活用
・外国人講師を積極的に活用

進路指導の目標

自己理解を深め、生き方を模索し、主体的な進路選択ができる生徒を育成

生活指導の方針

・自己肯定感の育成
・自律の育成
・自己責任の明確化
・教育相談体制の充実
・生徒会活動及び部活動等の活性化

特別活動の指導方針

①学校行事、生徒会活動、学年活動、学級活動の充実を図り、教師と生徒、生徒相互の望ましい人間関係を築き、いじめや不登校のない豊かな人間性を備えた集団を醸成する。

②学級活動では、学級の中の諸問題を話し合いによって解決し、互いを認め合い理解していく態度の育成に努める。また、様々な体験を通し、個性の伸長と同時に、進路や将来の　生き方などに対し主体的に取り組む能力を育てる。

③生徒会活動では、人権尊重の精神を浸透させる活動やボランティア活動を活発に行い、各生徒会委員会が創意工夫をした活動ができるように指導する。

④各教科や領域との連携を図り、集団の一員として個性を生かし、自らの役割を自覚しながら諸活動に主体的に取り組み、自らの意志で将来を切り拓く創造性や意欲・態度を育成　する。

⑤伝統ある学校行事の意義を理解させ、規律と秩序を重んじ、充実した学校生活を送る指導を推進する。

⑥学校生活を、より豊かで充実したものにするため、儀式的、学芸的、健康安全・体育的、旅行・集団宿泊的、勤労生産・奉仕的行事などの体験的な活動の充実を図り、生徒が成就　感や生きがいをもてるような内容の見直しを図る。

人権尊重教育の目標

・幼・小・中連携の人権尊重教育を実践
・同和教育の取り組みの成果を生か　し、人権教育への広がりを目指す。
・人権感覚を高め、人権問題についての正し　い理解と認識を培う。
・人権を尊重する態度を育成する。

道徳教育の目標

人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的判断力と実践力を培う。
①心に響かせる指導を展開する。道徳的実　践力を醸成する。
②自己の生き方を深く見つめ、自他の生命を尊重し、道徳的心情と判断力を育成。
③地域の道徳的教育力を高め、地域・保護者と連携を図る。

総合的な学習の時間の目標

①「自らの生き方を考える」をテーマとし、体験活動を取り入れる。
②人権課題を取り上げ、人権尊重の意識を高め、差別意識の解消を図る。
③外部講師の講演により生き方を考える
④体験活動でコミュニケーション能力や問題解決の力を高めさせる。

	学級活動	生徒会活動	学校行事
活動内容	○ 学級や学校生活の充実と向上 ○ 個人及び社会の一員としての在り方，健康安全 ○ 学業生活の向上，将来の生き方と進路の適切な選択	○ 学校生活の充実や改善向上 ○ 生徒の諸活動についての連絡調整 ○ 学校行事への協力 ○ ボランティア活動など社会参加等	○ 儀式的行事　○学芸的行事 ○ 健康安全・体育的行事 ○ 旅行・集団宿泊的行事 ○ 勤労生産・奉仕的行事
指導内容	・ 学習規律等の基本的生活習慣を徹底する ・ 短学活や学級生活を通して，一人一人の思いや声を大切にしていく ・ 学級での係活動を通して，主体性や協力性を育成する ・ 生活ノートを効果的に活用する ・ 班でのかかわり合いを大切にし，相互を高めるような活動をする ・ 様々な場面を想定した避難訓練や犯罪防止教室等を実施，健康で安全な生活習慣や態度を育成する ・ 学ぶことの意義を理解し，自主的な学習習慣をつける ・ 適切な進路選択や将来設計について考える	・ 生徒一人一人が吾嬬二中生としての自信と誇りをもつような活動を創造する ・ 幼小中連携を深め，自主、自立の力を育成する ・ 生徒会と学級をつなぐ委員会活動を活性化し，自治活動をしくむ ・ 生徒による全校集会，行事等を主体的に運営する ・ 校内の美化活動や学校周辺の清掃活動を充実する ・ ボランティア活動や有意義な社会的活動への参加協力を呼びかける	・ 教科，道徳，総合的な学習との関連を明確にし，生徒会活動とも連携しながら計画的に行事をしくむ ・ 幼保小中の連携の人間関係の中で相互に所属感や連帯感を培い，愛校　心を高めるような行事にしていく ・ 生徒が主体的に活動できる行事を創造する ・ 体験的な活動を積極的に行事に盛り込む ・ 関係全生徒を行事に位置づける